

村上小学校グランドデザイン

国の動向
 ・英語、道徳教育の充実
 ・チーム学校の推進
 ・アクティブラーニング

村上市<教育の基本目標>
 「ここで生きる」ことに自信と誇りを持ち、自らの進路を切り拓いていくことの実力（知力、気力、体力、徳性）を備えた子ども

地域の願い
 ・町づくりや地域の活性化への児童の参加要請
 ・東中校区の連携強化

安心して学べる学校、笑顔あふれる学校

教育目標【自治三訣】

人のお世話にならぬよう 人のお世話をするよう そしてむくいをもとめぬよう

重点目標

知

主体的に判断し 表現し 行動する子ども

体

より良い食・健康習慣を身に付けようとする子ども

徳

お互いを認め合い 進んでかかわり合う子ども

学力向上委員会の取組

<達成目標>

- ◎ よりよい学習習慣や学習規律が身に付いたとする児童の割合を80%以上にする
- ◎ NRT学力テストとWeb配信問題の結果が、それぞれ前年度（経年変化）や県平均を上回るようにする。

<方策>

- 総合的な学習の時間等で地域とかかわる体験的な活動を推進し、地域や保護者へ積極的に情報を発信する。
- 国語や算数を核とし、考える力と表現力を高める授業実践に努める。
- Web配信集計システムを活用し、十分な定着を目指し日々の授業改善を図る。
- 学びを支える学習規律や学習習慣の徹底を図る。
- 暗唱・朗読・音読を全校体制で計画的に実践する。
- 年間読書冊数達成を目指し読書活動を推進する。

体力健康委員会の取組

<達成目標>

- ◎ 給食で好き嫌いせずに食べる児童の割合を事前調査より5%増にする。
- ◎ 自分で決められた時刻に寝る児童の割合を事前調査より5%増にする。

<方策>

- 保護者参加型の教科や領域を横断した食育に係る授業実践に努める。
- 食育に係る年間指導計画の改善、給食時間における食育指導の継続に努める。
- 「8つの生活にチャレンジ」を活用し、家庭と連携して、食習慣や健康習慣を確立する。
- 学校保健委員会、HP、食育新聞や保健室たより等を通じ、保護者と地域への情報発信に努める。
- 全校業間運動（舞鶴タイム）を実施し、遊びや運動への意欲を高める。

思いやり委員会の取組

<達成目標>

- ◎ 相手のことを考えて言葉かけや行動ができる児童を80%以上にする。
- ◎ 進んであいさつができる児童を85%以上にする。

<方策>

- 学級経営の充実を図り、教師と児童、児童相互の好ましい人間関係を育成する。
- ファミリー活動を好ましい人間関係作りを推進する。
- 規範意識や他人を思いやる心を育てる道徳教育の充実を図り、道徳の授業に保護者や地域の人々の参加や協力を得る。
- 児童会やPTAと連携し、学年の児童の実態に応じたあいさつ運動を実施する。
- 「校内いじめ防止基本方針」に基づき、いじめや不登校の未然防止、早期発見、即時対応に努める。

文部科学省指定研究「スーパー食育スクール事業」2年次の取組

- 一 食育と学力向上の相関関係を科学的に実証するための関係機関と連携した研究実践一
 - 県・市町村教委、大学等との連携
 - 家庭や地域と連携した食育の取組
 - 研究成果の発表（11月の中間発表会の開催、研究紀要の発刊）

地域とともに歩む学校づくりの推進

- 学校だよりや新ホームページ等を活用し、積極的に情報発信・情報公開に努めます。
- 学校評議員会や学校保健委員会、保護者や地域の声を取り入れ教育活動を推進します。
- 幼・保・中との連携を重視し、地域の教育課題の解決に取り組みます。
- 村上地区健全育成会や各種学校支援ボランティアとの連携に努めます。